

タウンミーティング（文化会館）

日時

令和7年10月31日（金）19時～（18時30分開場）

場所

忠岡町ふれあいホール

忠岡町参加者

是枝町長、大塚教育長、部課長級職員11名、経営戦略課員2名

町民参加者

29人

意見・質問概要

- ◆ 大津川河川敷公園のベンチの老朽化について
- ◆ 広報ただおかのレイアウトについて
- ◆ 文化会館等の公共施設使用料および冷暖房費について
- ◆ 広報ただおかの短歌・俳句・川柳の掲載について
- ◆ 外国人向け日本語教室への教材費補助について
- ◆ 図書館における子ども等の居場所づくりについて
- ◆ 学校給食無償化、給食の質向上について
- ◆ 災害弱者名簿の更新および地区防災計画について

1. 開会挨拶・町長による町政報告

- ◆ ゴミ処理施設の公民連携事業については選挙公約通り中止を目指しており、近隣市への広域処理を目指して調査検討中。現在も忠岡エコサービスとの実施協定は継続中であり、環境アセスメントの報告書が進行中である。
- ◆ 物価高騰対策として水道料金基本料金の全世帯補助を2ヶ月延長する補正予算が9月議会で可決されたが、学校給食費補助は否決されたため、新年度予算での実現を目指す。
- ◆ 前町長による官製談合疑惑を受け、入札制度の改善に取り組んでおり、公正取引委員会の研修資料の学習や最低制限価格の入札日当日決定などの防止策を実施している。
- ◆ 公共施設のトイレへの生理用品設置について、人権擁護委員会・女性フォーラム実行委員会の協力を得て9月から役場庁舎・南館の女子トイレ・多目的トイレに試験的に設置を開始した。

2. 大津川河川敷公園のベンチ老朽化について

- ・ 大津川河川敷のベンチがささくれや木材の劣化・破損が進んでいて危険な状態にあり、高齢者がリハビリ等で利用する際の休憩場所として修繕・交換を求める意見
- ◆ 河川敷という環境の特殊性を踏まえつつ、高齢者や障害者の利用に配慮してベンチの改善を検討していく意向を示した。

3. 広報紙の開き方について

- ・ 広報紙が縦書きから横書きに変更されたことで読みにくくなり、冊子の開き方の違和感の指摘
- ◆ 若い世代には横書きが読みやすいという意見もある一方で、縦書きを好む声も把握しており、引

き続き改善を検討する方針を示した。

3. 文化会館等の公共施設使用料および冷暖房費について

- ・忠岡町の文化会館の使用料が近隣市町（岸和田市春木市民センター：1時間300円、田尻町：1時間100円）と比べて高額（40人規模で1時間1000円+冷暖房費400円）であり、文化活動の普及の観点から使用料の引き下げを求める意見。
- ◆他自治体との比較調査を行い、文化会館が住民にもっと活用されるよう運営側の意見も聞きながら検討する意向を示した。

4. 広報ただおかの短歌・俳句・川柳の掲載について

- ・広報紙のリニューアルに伴い廃止された短歌・俳句・川柳のコーナーについて、癒しや楽しみとして復活を希望する意見。
- ◆紙面スペースの制約や、アンケート結果を踏まえて廃止に至った経緯を説明しつつ、文化協会の広報誌・忠岡町公式ホームページ・広報紙の余白スペース活用など代替手段を検討する意向を示した。

5. 外国人向け日本語教室への教材費補助について

- ・外国人向け日本語教室のボランティア活動について、教科書や学習教材費の補助が前町長時代からほとんどなかったという実態の報告。
- ・日本語教室を通じて外国人労働者のコミュニケーション能力向上を支援しており、企業にとってもメリットがあることから、忠岡町として費用面でのバックアップを求める意見。
- ◆町長は教科書代補助の実績を調べた上で検討する意向を示し、外国人との交流の場づくりについても必要性を認識していると述べた。

6. 図書館の充実と子どもの居場所づくりについて

- ・テレビ番組で紹介された先進的な図書館の取り組み（会話可能なコーナー・個室学習スペースなど多世代が集まれる空間）を参考に、忠岡町図書館でも改善を求める意見。特に、町内に中高生が安心して過ごせる居場所がないという課題があることもあり、実現して欲しいという意見。
- ◆町長は図書館のスペースが限られていることを認めつつ、文化会館の活用なども含め、子どもから高齢者まで集える場所を住民の意見を聞きながら検討する意向を示した。

7. 学校給食費無償化について

- ・給食費無償化について1ヶ月半で2190筆超の署名を集めたが、9月議会で補正予算が否決されたことへの強い不満。12月補正予算での対応か、少なくとも翌年4月からの小中学校給食費無償化の確定を要望。
- ・給食の質の向上を要望。
- ◆財源の制約（水道料金補助に物価高騰対策交付金を充当したため給食費に回せなかった）を説明しつつ、新年度予算で可決できるよう議会への説明と根拠の明確化に努める方針を示した。
- ◆給食の質向上についても、無償化とあわせて検討していきたいと述べた。

8. 災害弱者の把握と防災体制・広報改善

- ・南海トラフ地震や台風の激甚化を踏まえ、災害弱者（一人暮らし高齢者等）の実態把握と住民が避難支援に参加できる仕組みづくりを求める意見。個人情報保護の観点から自治会への名簿提供が難しいという課題があり、ボランティアによる声かけ活動が進まない実態が報告。
- ◆地域ごとの地区防災計画策定に向けてワークショップを実施しており、住民同士が話し合いながら避難計画を作る取り組みを進めていると説明した。

◆要介護度の高い方については福祉課が個別対応の仕組みを検討中であり、行政として「一人も残さない」避難体制の構築に向けて段階的に取り組んでいる状況が共有された。

閉会にあたり、司会である町長公室次長から、本日いただいた意見を施策に反映できるよう努力すること、財源の制約の中で住民サービスの向上に努める旨が述べられ、タウンミーティングが終了した。